

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

ふくしあで夏祭り(8月7日)

社会福祉法人南富良野大乗会(鷹嘴充子理事長)が運営する特別養護老人ホームふくしあ(石井健治施設長)で3回目の夏祭りが開かれ、利用者や家族をはじめ地域住民など多くの皆さんが集まり、賑やかな催しを楽しみました。

雨天により催しは室内での開催となりましたが、占冠村の「青巖太鼓」や職員による「よさこいソーラン」などが披露されたほか、後半は雨が上がり、花火大会も行われ、大いに盛り上がりました。



地域貢献事業

北落合地区で特定中山間保全整備事業の鳥獣害防止柵を施工しております富良野市の大北土建工業株式会社様による地域貢献事業として北落合地区の道路排水整備(素掘側溝延長約250m・横断管布設2箇所)が7月27日に行われました。

町ではこの度の地域貢献事業に対し感謝状を贈呈いたしました。



「南風塾」の塾生が大健闘(7月24日)

幾寅の空手道場「正伝勤労者空手道南風塾」(田口桂治塾長・塾生25名)に所属する13名の塾生が、7月24日に札幌市で開催された「第13回チャレンジカラテトーナメント」に出場し、硬式空手部門の小学生1・2年男子の部で佐々木懸さん(幾寅小2年)、小学生高学年女子の部で小川璃子さん(幾寅小4年)が共に準優勝しました。

この大会は、さまざまな流派の団体が各部門に分かれて、約500名の選手が参加して毎年開かれています。準優勝した両選手とも「とても嬉しかったです。でも終わった後、悔しかったのでもっと練習して来年も頑張ります」と話してくれました。



七夕まつりを楽しむ(8月5日・7日)

町商工会(曾慶一介会長)の主催による恒例の七夕まつりが8月5日に幾寅駅前広場で開かれ、ちょうちん作りコンテストや子どもたちが商店街を練り歩いたほか、会場では、露天が出店し、参加した親子連れの皆さんは、輪投げなどで楽しい一夜を過ごしました。

落合では、8月7日に落合子ども会(小出松代会長)による七夕まつりが行われ、参加した子どもたちが、歌いながら町内を回り、昔ながらの七夕まつりを楽しみました。



「とれたて野菜まつり」(8月7日)

J Aふらの青年部南富良野支部(大竹秀明部長)と女性部(磯野信子部長)などが合同で、道の駅物産センター横の広場で「第10回とれたて野菜まつり」が開催されました。部員たちが自分の畑で作っているジャガイモやキャベツ、大根、ナスやトマト、メロン、スイカなど、新鮮なとれたてを持ち寄って格安で販売されました。人参のつめ放題では用意した200kgが完売の大人気で特産「地場野菜」と「鹿肉」を使った肉じゃが風「エ〜ジ・シカ煮」(試食)も登場し、大盛況でした。



シリーズ 学校だより ①04

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶落合小学校▶▶▶

短い夏を楽しもう

「さようなら・・・」帰りの挨拶もそこそこに、足早に帰路につく子どもたち。間もなく、校庭横のプールから歓声が聞こえてきます。7月2日、待望の学校プールがオープンしました。自分たちが利用する施設だからということ、全校児童で清掃も行いました。今年は屋根のシートを交換してもらい、以前よりずっと明るいプールになりました。水泳授業は北落合小学校の児童と合同で実施し、いつもよりたくさん友達と楽しく学習しています。



△とてもさわやか 気持ちがいい

お祭り ワッショイ

このほど、落合八幡神社の例大祭が開催され、本校児童も子どもみこしで参加しました。児童会で論議をつくり、テーマを「環境問題」としました。そこで、5・6年生を中心に、3日間かけてイトウのはりぼてを二体作り、みこしに設置しました。当日は、前夜からの雨が残るあいにくの天候でしたが、みこし行列が終わる頃には晴れ間ものぞき、子どもたちの頑張りを称えてくれていました。最後に、それぞれご褒美をもらってっこり。楽しいひと時を過ごしました。



△祭を活気づけた子どもみこし